

令和7年度 武生高等学校定時制課程スクール・ポリシー

スクール・ミッション【使命】

多様な生活環境や学習状況にある生徒が共に学べる定時制高校として、地域の自治体や関係機関と連携しながら生徒一人ひとりの学びのニーズを支援し、一人の人間として生きていく力や心豊かな人間性を育むとともに、生徒の多様な能力や適性に応じたキャリア教育を推進し、地域社会で活躍できる人材を育成する。

グラデュエーション・ポリシー【育成を目指す資質・能力】

未来へ向け自ら「生きる力」を育成する。そのために、

- ①「自己理解」を深め、自分自身を客観的、肯定的に受けとめる。
- ②「コミュニケーション能力」「他者を理解しともに生きる力」を身につける。
- ③「働くことの意味」「やりがい」「生きがい」について考え、実感する。
- ④「自ら学んでいこうとする意識」をもち、学習目標や進路希望を実現する。
- ⑤「生涯を通じての学び」の大切さを知る。
- ⑥「地域社会の担い手」としての自覚をもつ。
などの目標を学校生活や学習活動、学業と仕事の両立などを通じて実現する。
- ⑦「ルールとマナーを理解」し、主体的に実践することを通して「他者と協調しながら共に生きる力」を養う。

カリキュラム・ポリシー【特色ある教育課程】

- ・進路や適性、興味・関心にもとづき、自ら科目を選択して学習することによって、意欲的に学習をすすめられるよう、単位制によるカリキュラムを作成する。
- ・卒業後、社会の一員となるための資質を身につけられるよう、普通教科に加えて、商業科・家庭科の専門科目を加える。
- ・1コマ45分とし、3年での卒業を目指しながら学業と仕事の両立をはかるとともに、不登校生徒や外国籍生徒などが学ぼうえでの負担軽減を考慮する。
- ・大学や医療系の進学を目指す生徒の進学後の学力を確保するため、普通教科でも基礎科目だけでなく、できるだけ多くの科目を開講する。
- ・多様な生徒の学びに対応するために学校設定教科・科目を設ける。
 - ①中学校までの学び直しが必要な生徒に対する学習指導をおこなう(→数学F・「すららドリル」活用)。
 - ②大学進学後に必要な学力を身につけるための学習指導をおこなう(→英語読解)。
 - ③進学・就職後に必要となるコミュニケーション能力を身につけるための学習指導をおこなう(→コミュニケーション演習「論理・表現」)。
 - ④外国籍生徒が日本での学びや生活を続けるための支援となる学習指導をおこなう(→コミュニケーション演習「日本語」)。
 - ⑤多様な課題を抱える生徒に対して、少人数でのプログラム学習を通して心理的な安定を図り自己理解を深めさせる(→ライフスキル)。
- ・生徒の個別ニーズを把握し、必要に応じて学習や生活の困難の改善を目的とした自立活動(通級)や、日本語に課題がある生徒に対する日本語の指導をおこなう。

アドミッション・ポリシー【入学時に期待される生徒像】

- ・社会参加していく力を伸ばすために、倫理観・道徳観を身につけ、自己肯定感を高めていきたい生徒
- ・進路実現に向け、勤労観・職業観を身につけ、社会生活に必要なコミュニケーション能力をはじめとするソーシャルスキルを学びたい生徒
- ・一人ひとりの能力や進路希望に合わせた学びにより、進路実現をしたい生徒
- ・希望する科目を中心に、主体的・自主的に学習に取り組みたい生徒
- ・生涯にわたり学び続けるための基礎的な知識や技能を身につけたい生徒
- ・社会生活における基本的なルールについて学び、協力し合う姿勢を身につけたい生徒